



に い が た

県電だより



『マラソン大会へのボランティア参加』

撮影場所・撮影日／長岡市営スキー場 令和元年9月

【コメント】

長岡支部総務経営委員会は、地域貢献事業の一環として長岡市営スキー場で毎年9月に開催されているマラソン大会へのボランティア参加を奨励している。名称は「長岡東山アップダウンヒル 30 km・12 km」。長岡市営スキー場がスタートとゴール地点になっていて、終盤に難所の上り坂があるが、田園風景と東山の自然の中を通り抜けるコース。ゴール後には、山の中腹にあるスキー場のロッジ内で冷たいジェラートが参加者全員に提供され、飲食などが楽しめる事も魅力の一つ。

当組合では、今年も選手12名とボランティアスタッフ7名が揃いのTシャツで、健康作り、仲間作りを目的に参加した。

撮影者／新潟県電気工事工業組合 長岡支部 事務局

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目 次

1. 電気使用安全月間運動	1
2. 令和元年度 高校生ものづくりコンテスト開催	2
3. 電気保安功労者表彰・建災防表彰	3
4. フルハーネス型安全带使用作業特別教育講師養成講習会を開催	4
5. 低圧電気工事取扱特別教育講師養成講習会を開催	5
6. 各支部だより	6
7. 各青年部だより	8
8. 組合員の異動・変更	13
9. 電気工事士免状をお持ちの方へ	14
10. 危険物取扱者試験（3月分）・消防設備士試験（3月分）	16
11. 組合の保険って?! 令和元年度 ～団体傷害保険 年度更新～	17

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット



株式会社ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212
東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

電気使用安全月間運動

本年も8月1日から31日までの1ヶ月間、「電気使用安全月間（経済産業省主唱）」が全国で一斉に実施された。

本運動も本年で39年目を迎え、当工組では電気安全啓発キャラバン隊を編成して、県庁・NHK新潟放送局を訪問し、地域社会に視点をのいた電気使用安全に関する啓発並びにPRを行った。

当工組では8月の電気使用安全月間運動の一環として、7月22日に新潟県庁に佐久間副知事、7月23日にNHK新潟放送局に太田局長を小林理事長、齊藤（隆）副理事長、斎藤（賢）副理事長並びに遠藤技術副委員長、及び事務局の7名で訪問して、それぞれ趣意書を手渡し、電気使用安全月間運動について理解と協力を要請した。



県本部キャラバン隊



新潟県副知事を表敬訪問

なお、新潟県庁では、尾身県議会議員（工組政治連盟相談役）に同席いただき、近年、地震災害が頻発しているなかで、地震災害時の火災発生のお半を占める通電火災を防止するため、業界をあげて感震装置の取付推進に取り組んでいる旨、小林理事長より佐久間副知事に説明を行い、佐久間副知事からはその必要性に理解を示された。

また、感震装置・避雷器取付推進運動も6年目を迎え、各支部ごとにチラシを配布して電気事故の未然防止を呼びかけるなど、多彩な行事を実施した。

一方、各支部でもそれぞれの地域の実情にあわせた支部独自の企画のもと、「一般家庭を主軸にした活動」を全面的に展開し、PRリーフレット、チラシ、ウチワ等を一般需要家に配布し、電気の安全使用についてのPRにつとめた。



NHK新潟放送局長に趣意書を手交

令和元年度 高校生ものづくりコンテスト開催

去る8月6日（火）、長岡工業高校において「高校生ものづくりコンテスト 電気工事部門新潟県大会」が開催された。本大会は各工業高校で取り組んでいる「ものづくり」の学習効果の発表の場として、技術・技能を競い合う大会で、毎年度、県内工業高校の持ち回りで開催され、本年度で19回目を迎える。

本年度は新潟工業高校、長岡工業高校、並びに上越総合技術高校の参加3校からそれぞれ2名、合計6名の選手が出場して、2時間20分（延長時間10分）の競技時間で課題に基づき、指定された作業板の上に屋内配線工事を施工して、その技術の優劣が競い合われた。作業スピード・正確さは年々レベルアップしており、競技時間内で作業が完了したのは出場選手6名のうち5名であった。

なお、大会では新潟県電気工事工業組合技術委員3名が審査員を務め、採点基準に基づき厳正な審査が行われた。審査の結果、1位には笹川

選手（新潟工業高校2年）、2位には中村選手（新潟工業高校3年）、3位には田村選手（長岡工業高校3年）が入賞し、1位の笹川選手と2位の中村選手は、9月1日に富山県で行われる北信越大会に県選出代表として出場することとなった。

大会を振り返り、競技ブース内の整理整頓に努力を要する等のいくつかの課題が見受けられたが、それらにもまして、限られた競技スペースのなかで、夏休み返上で汗まみれで取り組んだ選手諸君の奮闘に、賛辞を贈りたい。

また、大会関係者・引率の教師の方々、大変お疲れ様でした。



競技の模様



ボックス取付作業



女性選手の出場



電線接続作業

令和元年度

電気保安功労者表彰

9月5日(木) 午前11時より、仙台市のホテル白萩において、経済産業省 関東東北産業保安監督部東北支部長の出席のもと「令和元年度電気保安功労者表彰式」が挙行され、電気保安の確保に顕著な功績のあった事業場及び個人を表彰した。

当工組より、電気工事業者の営業所の部で株式会社英電社が永年にわたり電気保安の確保に顕著な功績があったとして表彰された。

▼電気安全東北委員会委員長表彰

— 電気工事業者の営業所の部 —



株式会社 英電社

代表取締役

横田 良英 氏

(柏崎支部)

令和元年度

建 災 防 表 彰

7月25日(木) 13時30分より、ANA クラウンプラザホテル新潟において、第53回新潟県建設業労働災害防止大会が開催され、席上表彰式が挙行された。

当工組より、優良事業場賞として有限会社陽光電気、個人功績賞として須貝博毅氏が各々永年にわたり事業場等の労働安全確保に顕著な功績があったとして表彰された。

また、職長賞として布施健一氏が永年にわたり事業場の安全衛生の向上に顕著な功績があったとして表彰された。

▼個人功績賞



有限会社 須貝電器

取締役

須貝 博毅 氏

(村上支部)

▼優良事業場賞



有限会社 陽光電気

代表取締役

山本 淳一 氏

(魚沼支部)

▼職 長 賞



株式会社 水嶋電気工事

布施 健一 氏

(上越支部)

フルハーネス型安全帯使用作業特別教育 講師養成講習会を開催

令和元年8月20日（火）、ハードオフエコスタジアム新潟において技術委員会主催による、「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」講師養成講習会が開催された。

本講習会は、厚生労働省の法令改正に伴い、建設現場の高所作業において使用される安全帯についてフルハーネス型安全帯の着用と、着用にあたっては安全衛生特別教育を受講しなければならない事も義務付けられた事を受け、各支部で支部講師による特別教育を開催する事により、

組合員が他の機関で受講するより、費用負担が少なく容易に受講できる事を目的として開催された。

当日は、本部 斎藤賢副理事長より講師を務めて頂き、各支部の講師予定者31名を対象にスケジュール説明の後、カリキュラムに沿って、午前中は作業に関する知識と労働災害、災害事例、安全帯に関する知識、関係法令等、学科教育が行われ、午後はフルハーネス型安全帯の装着方法、ランヤードの設備等への取付方法、注意点について説明の後、受講者一人一人が実際にフルハーネスを着用して、現場を想定した中で実技教育が行われ、まとめとして教育用ビデオを視聴し、質疑応答、支部での特別教育開催に向けた諸連絡の後、終了した。

本日受講された31名が講師となり、今後各支部にて特別教育が開催される予定となっている。



パワーポイントによる学科教育



フルハーネスの装着方法を確認



フルハーネス着用

低圧電気工事取扱特別教育 講師養成講習会を開催

令和元年9月10日（火）～11日（水）の二日間に亘り、電気工事会館において「低圧電気工事取扱特別教育講師養成講習会」が開催され、8名が受講した。

「低圧電気工事取扱特別教育」は、労働安全衛生法第59条第3項、労働安全衛生規則第36条第4項により、事業者は感電等の災害を防止するため、従業員に低圧の充電回路の敷設若しくは修理の業務または配電盤室、変電室等区画された場所に設置する低圧回路のうち充電部分が露出している開閉器の操作の業務に従事されるときは、安全および衛生のための特別教育を行

うことを義務づけている。

なお、経済産業省の所管である電気工事士免許を取得していても、低圧電気取扱の業務に就く場合は、低圧電気工事取扱特別教育を修了していることが必要となる。

当日は、梨本栄一技術委員長、小川邦之技術委員が講師を務め、座学7時間、実技7時間のカリキュラムに従って講義を進めた。

実技講習では、日本赤十字社新潟県支部救急法指導員の長島様より、心肺蘇生法・AEDの使用方法についての講義をいただいた。



1日目：座学講習



2日目：実技講習（導通確認）



2日目：実技講習（機器測定）



2日目：実技講習（心肺蘇生）

三 条 支 部

わくわく建設フェスタ in SANJO

(三条商工会議所建設部会主催)

9月14日(土)三条支部(三条加茂電気工事協同組合)として「わくわく建設フェスタ in SANJO」(三条商工会議所建設部会主催)に参加し、青年部を中心に高所作業車乗車体験を開催してきました。秋晴れのいい天気恵まれ、暑いなかでの開催でした。スカッと晴れた空に高所作業車のバケットが伸びていくのが爽快でした。



例年開催されている「さんじょう消防・防災フェスタ」の開催にあわせて今年初めて「わくわく建設フェスタ in SANJO」の開催となったとのことで、三条市内の建設関係の組合や建設業協会がその特色を生かした取り組みでフェスタを盛り上げました。建築組合の「ミニ上棟式」では、お菓子を撒くので子供も大人も大喜びでした。管工事組合は水鉄砲を作ったりバルブ操作のゲームがあり、水鉄砲をもっている子供たちもたくさんいました。

また、消防・防災フェスタでは、消防車や救急車の中を見学したり、自衛隊の車やパトカーなどがあったり、地震の体験ができたりと様々な催し物がありました。

私達、三条支部(三条加茂電気工事協同組合)

の高所作業車乗車体験ですが、なんと63組ものお客さんに来て頂き盛況のうちに終わることができました。開催場所は三条防災ステーションだったのですが、高所作業車のバケットから見える景色で一番子供たちの声が多かったのが、イオンとマクドナルドでした。ああ、子供はマクドナルドだね！と思っていたら大人も意外とマクドナルド。あの看板は目立ちます…。



今回のフェスタで、いろいろな乗車体験をした子供たちが、将来、電気屋さんになりたいなと言ってくれるといいなと思った一日でした。



燕 支 部

燕の夏祭り

2020年東京五輪・パラリンピックの選手村の食堂にて燕市産のカトラリー（金属洋食器）が正式採用され、また、イギリス、アメリカ、カナダ製が多いとされるフィギュアスケートのブレードを燕の金属加工技術を用いて開発し、オリンピック選手への採用を目指す研究会を立ち上げたカトラリー国内生産シェア90パーセント以上を誇る燕市。

燕製品ブランドが国内外へ更に発信されることを期待する金属加工の街、燕市の夏祭りが7月20日（土）・21（日）開催の飛燕夏祭り、分水祭り、7月26日（金）・27日（土）開催の吉田祭り、7月28日（日）燕大花火大会を締め括りとして開催されました。

計7万人以上の参加者、来場者をお迎えして音楽パレード、コンサート、御神輿、よさこいソーラン、民謡流し、漫才、お笑いライブ、燕市特産品の販売等が企画運営され、地域の皆様や子供達、市外からのお客様にも大変喜んで頂けたのではないのでしょうか。



飛燕夏まつり（神輿）

今回は猛暑という過酷な環境下ではありましたが、祭り開催における仮設照明設置、仮設電源供給、音響設備設置調整は燕支部内各地元の



飛燕夏まつり（燕ばやし）

電気工事会社が準備、企画、保全に携わり、祭り運営に寄与しているのは言うまでもありません。各社から集まった若手、ベテラン電工の皆様が作業を通じて人的、技術交流を図ることができるのも一つの良い事例です。



吉田まつり

「祭り」そのものが希薄となった地域の皆様同士の関係を強くし、地元愛を深める機会となっていると考えますし、その中で我々燕支部の電気工事業界が更に地域との関係強化を毎年の祭り開催に携わることで図れる貴重な場所であります。

防犯灯 ESCO 事業、燕市との防災協定を含め地元燕市内で電気工事業界の地位向上を更に目指して参ります。

県 青 年 部

令和元年度青年部支部間交流親善スポーツ大会を開催 各支部青年部会員 94 名が集結！ 三条支部青年部チームが初優勝！

6月22日（土）に恒例の青年部支部間交流親善スポーツ大会が小千谷市の「小千谷総合体育館」にて開催されました。第14回目となる今年度は、小千谷支部青年部が主管となり、県下全13支部から94名の青年部会員が集結しました。開会式では、県青年部の大島会長、地元小千谷支部の山本支部長（小千谷支部青年部高橋会長代読）より挨拶をいただき、昨年度の新潟大会で優勝した新津支部チームよりトロフィーが返還されました。



トロフィー返還

当日は、支部対抗で、合同の2チームも含めて計11チームに分かれ、「ボッチャ」と「フロアホッケー」の2種目の総合ポイントによって順位を決定しました。

今回の競技は、ほとんどの方が未経験で、経験差がない平等な条件のもと、熱戦が繰り広げられました。

結果は三条支部チームが念願の初優勝を果しました。また、2位は村上・佐渡支部合同チー



フロアホッケー



ボッチャ

ム、3位は、村上支部チームと十日町合同チームでした。バリアフリースポーツと言えど、フロアホッケーは激しい戦いとなり、皆さんのあふれるパワーを持て余すことなく発揮できたと思います。また、勝敗は頭脳戦と言われるボッチャが決め手となったようです。

熱戦の後は、グリーンパークに場所を移して会員交流会が開催され、75名が参加しました。途中、表彰式が行われ、優勝した三条支部チームに県青年部大島会長よりトロフィーが授与さ

れました。

新潟県の青年部会員が一堂に会するこの行



優勝 三条支部



第2位 村上・佐渡支部

事で、今年も多くの仲間と交流を深め、大いに盛り上がりました。

最後に、今回の大会では、スペシャルオリンピックス中越ブランチの関係者の皆様に道具や競技の準備、ルール説明、審判に至るまで、運営に多大なご協力いただきました。本大会が盛会裏に終わったのも、スペシャルオリンピックス中越ブランチの関係者の皆様のご協力があったからこそ、この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、ご参加の皆様、主催いただきました小千谷支部の皆様大変お疲れ様でした。



第3位 新津・小千谷支部



集合写真

新発田支部青年部

新発田支部活動報告

新発田支部青年部では7月27日、新発田駅前のメインストリートを歩行者天国としたサマーフェスティバル2019に参加してまいりました。

その中で、高所作業車の乗車体験を行わせていただきました。一般の方は、普段の生活で目にしたことはあっても乗車したことがないとい

うことで、最長40分待ちの大行列で乗車待ちの列ができるほどでした。

小さなお子さんもヘルメット、安全帯を着用し初めて乗るバケット、初めて見る風景にてとても興奮し楽しんでいる姿を見て、嬉しく思うと同時に「少しでも電気工事という職種を知っていただけるいい機会になるんじゃないか」と思いました。

今後も、このようなイベントに参加し、地域の方々とのおふれあいを大切にして電気工事業界をもっと広くアピールしていきたいと思います。



大行列の高所作業車乗車体験



事業後の懇親会

新津支部青年部

未 来 へ 届 け

私ども新津支部青年部は現在7名で活動しています。少数ではありますが、魅力ある青年部にしようと、日々工夫をこらした活動を行っております。今回は4月に行われた高所作業車試

乗体験の様子と、9月に行われた電気ふれあい体験の様子、また、今後予定している事業についてもご紹介いたします。いずれの事業も次世代に対して少しでも電気に興味を持ってもらう



さくらフェスタ

ことを目的としています。

まず活動報告ですが、今年の4月に五泉市のさくらんど会館で開催された「さくらフェスタ」で高所作業車の試乗体験を行いました。今年は天候にも恵まれ、桜が満開の時期とも重なり沢山の来場者の方で賑わっていました。いつもは下から見上げる桜の花を上空から見下ろしたピンク色のカーペットは、たくさんの方の記憶に残ったのではないのでしょうか。また、子供たちがヘルメットを被り安全帯を腰に締め誇らしげにポーズをきめる姿と、それを一生懸命に写真に収める親御さんの姿に私たち青年部メンバーもととてもやりがいを感じる機会となりました。

次に、9月22日に秋葉区阿賀野川水辺プラザで開催されました「あきはなび」の会場で電気ふれあい体験を行いました。今回が初めての試みとなりましたが、懐中電灯を作りながら電気の仕組みを楽しく学んでもらうという内容です。ブース内は自分が作った懐中電灯に電気が灯ると自然と拍手がおこり子供たちも笑顔になっていました。当日は200キットを準備しておりましたが、わずか3時間あまりで在庫がなくなりました。たくさんの人に電気を通じて作る楽しみを提供できたことに対し、大変嬉しく思っ

ています。

今後の活動については、来年の3月に前年に引続き新津工業高校での交流授業を計画しております。昨年は、授業後のアンケートに「電気工事に興味がなかったけれど少し興味がわいてきた!」「こんな授業を増やして欲しい!」などたくさんの嬉しい声をいただきました。今年は授業時間を拡大して、さらに興味を持ってもらえるような内容にしようと青年部メンバーも意気込んでいます。

最後になりますが、私たちはこのような事業を通してたくさんの人に我々の仕事に対して興味をもってもらい、さらなる業界の発展を目指しています。今、自分たちができる事をできる時に精一杯行い、自分たちも楽しめる事業を今後も発信し続けていきたいと思っています。



あきはなびにて①



あきはなびにて②

小千谷支部青年部

支 部 活 動 報 告

小千谷支部青年部では、8月23日（金）～25日（日）に開催された『おちやまつり』で、祭り参加者や、観客の方へ熱中症対策としてうちわの配布をさせていただきました。

8月24日（土）の午前10時頃から小千谷市総合産業会館サンプラザの駐車場で配布を行いました。夏らしい陽気に恵まれたおかげか、うちわは大人気でした。



うちわの配布

サンプラザの駐車場には「おちや☆うき☆うき☆しゃっこいまつり」ということで、真夏にもかかわらず多くの雪を用意し、その雪を使用



大花火大会

して宝探しなどのイベントが行われていました。子供から大人までたくさんの方が喜んでいて、私も大変嬉しくなりました。その他にもおちやまつりには、「大花火大会」や「からくり万灯パレード」などたくさんのイベントがあり、小千谷を盛り上げます。

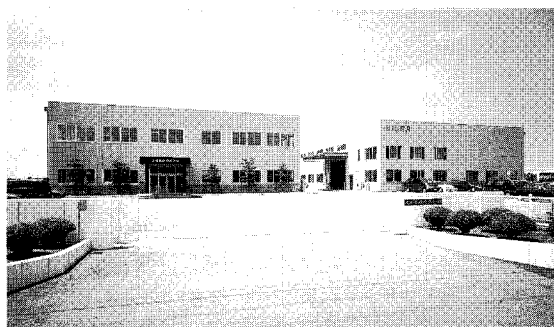


からくり万灯パレード

今回初めておちやまつりに参加しましたが、地元、小千谷市の皆さんと触れ合うことができ、本当にいい経験になりました。

これからもこのようなイベントに参加し、地域の方々と触れ合い「電気工事」の存在を皆さんにもっと知ってもらえるようにアピールしていきたいと思います。

先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小 名 隆 一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

組 合 員 の 異 動

令和元年 10 月理事会報告分

日 付		支 部	
R2. 3. 31	脱 退	新 潟	(有)勝山電気

組 合 員 の 変 更

令和元年 7 月～ 9 月組合受付分

支 部	事 務 所	変更箇所	変 更 前	変 更 後
新 潟	三 浦 電 機 (株)	代 表 者	小 名 隆 一	小 名 堅 一 郎
村 上	ア イ メ ッ ク	住 所	〒 959-3425 村上市山田 978-10	〒 959-3427 村上市松沢 40-18
新 津	坂 口 電 気 商 会	商 号	(有) 坂 口 電 気 商 会	坂 口 電 気 商 会
三 条	橋 電 気 (株)	代 表 者	橋 本 克 己	橋 本 一 洋
三 条	(株) ヨ シ ダ 電 機	代 表 者	吉 田 慎 一 郎	有 波 敏 博

LEDリニューアルが、 経営に効いた。



Panasonic

コスト回収、約3年[※]
蛍光灯と比べて最大約59%の省エネ[※]大幅なコスト削減に。

職種・用途にフィット
約8,000種のラインアップ。「1台・1列から」調光も可能。

業務を止めずに導入
無線調光タイプは、信号線の工事が不要で短工期・省施工。

iDシリーズ
一体型LEDベースライト

Panasonic LED パナソニックは2019年3月31日に蛍光灯器具を生産終了いたしました。

※従来蛍光灯器具FSA42001F VPN9とiDシリーズ40形S200lmタイプ(直付XLX450DHNTLE9)との比較。新電力料金目安単価:25円/kWh(税抜)[家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)』から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間、従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。

A Better Life, A Better World パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社 新潟電材営業所 〒950-2031 新潟市西区流通センター1丁目1番地3 TEL.025-260-7711

■ 第一種電気工事士免状をお持ちの方へ 第一種電気工事士定期講習のお知らせ

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

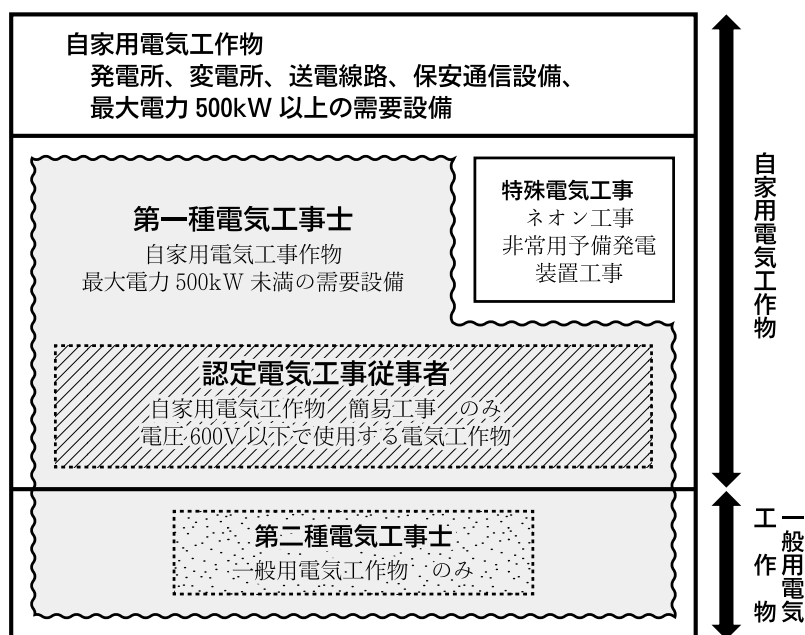
新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気工事技術講習センター』にご登録されている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

開 催 日	会 場
令和元年 11月17日(日)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
11月26日(火)	新潟テルサ 3階 大会議室
12月3日(火)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
12月18日(水)	燕三条地場産業振興センター メッセピア 5階 総合研修室
令和2年 2月2日(日)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
2月13日(木)	燕三条地場産業振興センター メッセピア 5階 総合研修室
2月18日(火)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
3月5日(木)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-1587

●電気工事士等の資格と従事できる工事範囲●



第二種電気工事士免状を取得しただけでは、
自家用電気工作物 最大電力 500kW 未満の
需要設備の工事はできません。

■ 第二種電気工事士免状をお持ちの方へ 認定電気工事従事者取得のご案内

【認定電気工事従事者】認定証の交付を受けるには 経済産業局長に申請しなくてはなりません。

■申請条件：① 第一種電気工事士試験合格者

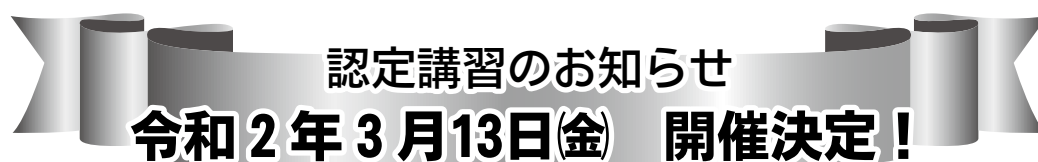
② 第二種電気工事士免状取得後、3年以上の実務経験を有する者 または (財)電気工事技術講習センターが行う認定電気工事従事者認定講習の課程を修了した者

③ 電気主任技術者免状取得後、電気工作物の工事、維持もしくは運用に関する実務経験が3年以上ある者

■申請場所：申請者の住所を管轄する 経済産業省 産業保安監督部

新潟県に現住所のある方は ⇒ 関東東北産業保安監督部電力安全課

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 TEL：022-221-4948



認定電気工事従事者は第二種電気工事士免状取得後3年以上の実務経験があれば、その実務経験の証明を添えて申請することで資格を取得できます。しかし、

3年の実務経験がなくとも『認定講習』を受講し、受講修了証等を添えて申請すれば
認定電気工事従事者の 資格を取得できます。

認定電気工事従事者認定講習は、毎年新潟県で開催するとは限りません。令和元年度下期に新潟で開催が決定しました。是非この機会に講習会を受講して資格取得・従事できる工事の範囲を広げて下さい。

※申込期間：令和元年 10月25日(金)～11月14日(木)

受講希望の方は、

- ・講習開催HP → <http://www.eei.or.jp/approval/> よりお申し込みください。 →
- ・ご不明な点は新潟県電気工事工業組合 講習担当 TEL：025-229-1587 まで



各地の映像をきれいな電波で。

10月1日から10月31日まで、**受信環境クリーン月間** です。

信越受信環境クリーン協議会では、建造物障害、ブースター障害、電気雑音障害、無線局やその他の原因による障害など、放送受信に関する各種障害については、迅速な対応により障害の解消を図るとともに、各種の障害についての改善指導及び地上デジタル放送の受信相談に取り組みます。

<問合せ先> 信越受信環境クリーン協議会事務局 TEL 026-234-9991 FAX 026-234-9999

危険物取扱者試験・消防設備士試験日程

～ あなたの未来に活かせる資格を！！ ～

後援:消防庁

あなたの挑戦で、
はずむ未来へ。

資格試験にチャレンジ!!

インターネット申請OK

「人・街を守る」社会に必要とされる国家資格

活躍できる 職場 > 危険物取扱者				活躍できる 職場 > 消防設備士			
石油化学工業	自動車工業	塗料業	化粧品業	建築業	電気工事業	消防設備業	
農薬工業	食品化学工業	ガソリンスタンド	大型量販店	給排水設備業	不動産管理業	防災コンサルタント	

お問い合わせは
各道府県支部へ
東京都の場合は中央試験センターへ

(一財)消防試験研究センター
<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

●危険物取扱者試験

令和2年 3月 7日(土)

受付期間(書面)
1月17日(金)～1月31日(金)

試験種類
甲種・乙種第1～6類・丙種

受験地
新潟市・長岡市・上越市

●消防設備士試験

令和2年 3月15日(日)

受付期間(書面)
1月24日(金)～2月 7日(金)

試験種類
甲種第1～5類(特類を除く)
乙種第1～7類

受験地
新潟市・長岡市・上越市

(一財)消防試験研究センター 新潟県支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

※受験願書、免状の書換え申請書は、当センター支部及び県内の消防署で配付しています。
※年間の日程等については、上記にお問い合わせください。

組合の保険って? Donna Konna

～新潟県電気工事工業組合取扱い～

令和元年11月25日～令和2年11月25日

《団体傷害保険 更新のご案内》

※期日までにお手続きをお願いいたします。

新潟県電気工事工業組合
組合員の役員・従業員の皆さまへ

令和元年10月版

～普通傷害保険～

団体傷害保険のご案内

【普通傷害保険に加入の皆さまへ】
令和元年10月1日現在、普通傷害保険の保険料は、前年度に比べて、大幅に引き上げられています。最新の保険料は、本パンフレットをお読みください。

【24時間補償】【就業中のみ補償】

入院することなく、通院の場合も、通院1日から補償されます。
毎日の安心のために……
皆さまにご加入をおすすめします!!

例えばこんな傷害事故のときにお役にたちます!!



団体割引
10%

保険契約者	新潟県電気工事工業組合
加入対象者	新潟県電気工事工業組合員の役員・従業員 (臨時者を含まず。)* ※雇用関係のない外注はご加入できません。
◇継続加入の皆さま	
保険期間	令和元年11月25日午後4時から 令和2年11月25日午後4時まで 1年間
加入依頼書・保険料締切日	令和元年10月18日(金)までに、所属支部へご提出ください。
加入依頼書提出先	同封の加入依頼書にご記入のうえ、新潟県電気工事工業組合 所属支部までご提出ください。
◇新規・中途加入の皆さま	
保険期間	受付日の当月25日午後4時から 令和2年11月25日午後4時まで
申込締切日	毎月20日(※令和元年11月25日加入は、令和元年10月18日(金)まで)
加入依頼書提出先	10ページの【加入・変更等依頼書】をコピーのうえご記入いただき、 新潟県電気工事工業組合所属支部までご提出ください。

普通傷害保険は、身の回りに潜む危険からあなたをお守りします。

※保険金のお支払方法等重要な事項は、「この保険のあらまし」以降に記載されていますので、必ずご確認ください。

◇万が一の場合(死亡保険金・後遺障害保険金)

事故の発生の日からその日をきめて180日以内に死亡した場合は、死亡保険金をお支払いします(死亡の場合は死亡・後遺障害保険金全額、後遺障害の場合はその程度に応じて死亡・後遺障害保険金の4%～100%をお支払いします。)



◇入院補償(入院保険金)

入院1日目から補償
事故の発生の日からその日をきめて180日以内に入院を開始した場合、事故の発生の日からその日をきめて365日を限度に、入院1日につき入院保険金日額をお支払いします。



◇通院補償(通院保険金)

通院1日目から補償

事故の発生の日からその日をきめて180日以内に通院し医師の治療を受けた場合、通院1日につき通院保険金日額をお支払いします。
(90日限度)

ただし、入院保険金をお支払いするべき期間中の通院に対しては、通院保険金をお支払いしません。

◇手術保険金

事故によるケガのため、事故の発生の日からその日をきめて365日以内に公的医療保険制度の給付対象である手術を受けた場合、入院中に受けた手術は入院保険金日額の10倍、外来で受けた手術は入院保険金日額の5倍の額をお支払いします。ただし、1事故につき1回の手術にかぎります。

2パターンのプランを選択可能

(1) 24時間補償 ※役員の皆さまは24時間補償のみの加入となります。

24時間補償は、職場にいる場合だけでなく、レジャー中、旅行中など、日常生活の偶発な事故も補償の対象となります。

(2) 就業中のみ補償

就業中のみ補償は、就業中(通勤途上を含みます。)*の急激かつ偶然な外来の事故が補償の対象となります。

*詳細は、お手元のパンフレットでご確認下さい。

最低賃金が、 ことしも 変わります。

確認しましょう！

新潟県 最低賃金

830 時間額 円

令和元年
10月6日から

27円
UP

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。
使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

最低賃金に関するお問い合わせは
新潟労働局または最寄りの労働基準監督署へ
新潟労働局ホームページアドレス
<https://site.mhlw.go.jp/niigata-roudoukyoku/>

最低賃金に関する特設サイト
<http://www.saiteichingin.info/>

WEBで確認！

最低賃金制度 検索





企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業企業年金基金

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 番地

<管理部門> TEL 025 (229) 4101

<資材部門> TEL 025 (229) 1586

印刷：株式会社 大創



見える危険は指差呼称

見えない危険は危険予知

知らない危険は教育訓練

〈安全標語〉 新津支部 (株)八重電業社 津川営業所 庄司博一

新潟県電気工事工業組合